

特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会

OAJ NEWS

Olympians Association of Japan

vol. 2017 **34**



スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業



●OAJインタビュー／ダイジェストコラム

道を求めて進む

井上康生(柔道／シドニー、アテネ)

オリンピックの人間力^{ちから}

「オリンピックの人間力」では、まなざしの奥に潜在するオリンピックの人間力に迫ります。
このインタビューは、OAJウェブサイト(<http://www.oaj.jp>)でご覧いただけます。

(文:田中清行、写真:田村友孝)



見事な内股による一本。美しい豪快な井上康生の柔道の残像は鮮明です。また
昨年のリオデジャネイロオリンピックでの柔道男子の金メダル二個を含む全階
級メダル獲得という快挙は、各選手の闘魂と集中力はもろろんのことですが、総
指揮官井上康生監督のリーダーシップと人徳あつてのことに疑いの余地はあり
ません。東京大会を三年後に控えた今夏、北区にあるナショナルトレーニング
センター(通称、味トレ)の柔道場に井上監督を訪ねました。既に歴史に名を刻
むゴールドメダリストであり柔道家の井上さんが不惑を前に、日本柔道の過去
と現在さらに未来への展望を静かにされど熱く語ります。

Kosei Inoue

鍛え上げられた技で相手を仕留める、ここに柔道の魅力はあると思います。私自身現役時には一本を取りに行く柔道を追求しておりました。そして全日本の監督を務めさせていただいております今は、人生の先行体験を得ることができるというのもその魅力と感じています。五歳から始めた柔道ですが、現役の二十五年間に培われたものがその後の人生に折に触れ活用できていることをつくづく実感しています。これは柔の道の「道」を究めることと言っていいのかもしれませんが。同時に私自身まだまだ未熟ですので、さらに学んでいかなければいけないと思っています。

柔道とJudo

柔道は元来国技です。武道精神は大事にしていかなければいけません。そこが他のスポーツと異なるところでもあります。しかし約半世紀前の東京オリンピックで正式種目に採用され、そして現在二百に近い国や地域が国際柔道連盟に加入し、国際スポーツになっている状況を考えますと、世界の柔道として新しい基準をつくっていかなくてはならないのだろうと考えています。

私の現役の頃までは立技たちわざを重視していて、寝技になりそうな時も早めに「待て」をかけて、立技に仕向けるところがありました。しかし今は、寝技も大事にしていく方向ですし、寝技の攻防も長く見るように変わってきています。我々自身、寝技の一本も、関節技の一本も大事にし、総合的に戦うことを指導しています。これは伝統的の日本柔道にも、世界で戦う柔道にも合致していると思います。いずれにせよ、高い技術力が必要です。立ってよし、寝てよしの高い技術力を持つ選手を育てなくてはと私は考えています。現場監督としましては、やはり世界的な柔道にどう対応していくかが肝心です。

ひたすら技を磨く

小学校五年生の時に講道館で山下泰裕先生に初めて稽古をつけてもらったことがあります。憧れの山下先生でしたし、その後の私の柔道人生に大きな影響を与えました。一発足払いをバチッと食らい、私も踏ん張って投げられなかったのですが、後で痣ができていて(笑)、そうかこういうものかと、妙にうれしくなったことを覚えています。その後の大きなエネルギーになりました。ですので今の選手たちにも、より多くの子供たちにエネルギーを与え、同時に選手たちにも日本代表としての自覚や責任を持てるようなそんな機会を設けています。

その後も中学生の時はバルセロナオリンピックでの古賀稔彦さんや吉田秀彦さんの金メダルに感激し、高三の時にはアトランタでの野村忠宏さんや中村兼三先生の優勝に大きな力をいただいたことを鮮明に覚えています。

私が現役の時に、初めて組んで、今の自分では勝てないなと感じたのは篠原信一さんです。瞬時にかなわないとわかりました。大学二年時の、全日本選手権の決勝戦でした。大概の選手はどうにかなるだろうと思えたのですが、その時だけはそう感じ、実際一本負けしました。二年後2000(平成12)年の日本選手権でも決勝戦で敗れ、篠原さんに勝ちたいという思いは執念のようなものになりました。そしてその翌年の日本選手権決勝で雪辱できたのです。

自分自身の最大の武器は内股だと思っていました。その技を高めるためにはあらゆる努力と研究をしました。これで世界と勝負するんだと言い聞かせました。歴代のチャンピオンを振り返りましても、必ず必殺技と呼べる技を持っているよう



に思います。詰まるところ技術なんです。同じ階級であれ、同じ体重であっても、世界の強豪選手は骨格か体格的な何か、一回り大きく感じさせるものがあります。その外国選手と対等に戦っていくためには、技術力が絶対に必要です。まずは技術力、次に体力、あるいは精神力だと私は思っています。

甘さから覚醒せよ

今振り返って私は、誰よりも柔道が好きで、誰よりも努力していたという思いはあるのですが、一方で勝負師として甘さを持っていたのではないかと、執念とか獠猛さとか野生さとかに欠けている自分がいたのではないかと、思います。その甘さは、母の死によって気付かされたように思うのです。シドニーオリンピックの前年の夏のことでした。直後に英国であった世界選手権に初出場し、初優勝しました。そこで私は変わったように思います。翌年のフランス国際大会、全日本選抜体重別大会と勝って100キロ級のオリンピック代表を得て、シドニーでの金メダルと続きます。私が二十一歳の時の母の急逝が、覚醒させてくれたように思います。勝負の世界はギリギリのところでの戦いですから、わずかな甘さや弱さも勝負に出てくるように思います。母は私の甘さを見切っていて、自らの命を投げ打って、そのことを教えてくれた、力を与えてくれたんじゃないかと思わざるを得ないのです。

畳の上だけが勝負ではない

午前中は警視庁で練習させていただいたのですが、その際も稽古が終わった後は、全日本の選手たちに、テーピングのテープですとかペットボトルですとか拾って帰ろう、立つ鳥跡を濁さず、を励行しているのですが、選手たちに、全日本は特別な集団であると伝えてあります。だからこそ世界と戦っていきけるのだと。ゴミを拾うといういわば当たり前のことができない集団、あるいは規律もそうですが、それが守れない集団はいずれ滅びると思います。畳の上だけが勝負なのではない、日頃の生活で当たり前のことがきちんとやれているかが、畳の上の勝負に出てくると思うからです。隙のない人間で生きていられることが、大事な試合になればなるほど、そのことが表れるので



オリンピック：井上康生 (いのうえ・こうせい)

1978 (昭和53)年、宮崎県の柔道家の三男として生まれる。五歳で柔道を始め、めきめき上達。小中高、東海大時代全て全国制覇。1999 (平成11)年の世界柔道選手権で優勝(その後三連覇)。翌年のシドニーオリンピック100キロ級で金メダル、2001年の全日本柔道選手権を制し(その後三連覇)、三冠達成。決め技は内股。東海大学大学院卒。英国へのコーチング留学や総合警備保障勤務等を経て、東海大学准教授。2016年のリオデジャネイロオリンピックでは男子監督として全階級メダル獲得の快挙を達成する。2020年の東京大会に向けて現在も指揮を執る。柔道六段、2013年には国際柔道連盟殿堂入りを果たした。

はないか、その意識は常に持つようにと、言っております。だから特別な集団なのです。リオではそのようなことを率先してやっていた集団だったからこそ、メダルを勝ち取ってくれたのだらうと思います。

今の選手たちも十代、二十代の若い人たちですし、自分自身もそうですがまだまだ勉強中で、その中で一步一步みんな前進できていると感じられて私自身もうれしいのですが、さらに道を求めて進んで行かなくてはいけないと思っているところです。

ご多忙な井上さんなので小一時間のインタビューではあったが、それでも濃いお話を聞くことができ、筆者としては至宝のひとつだった。井上さんの少年時代から三冠時代に至る精進、紙一重の勝負の厳しさ、礼節を尊ぶ精神性等々、言葉を介しての実体は、実は筆者の受信能力を遥かに超えていることだらう。さらに指導者として日本柔道と世界の柔道の現況を受け入れ、かつ未来へよりよき柔道を発展継承させていくことに腐心されていることがひしひしと伝わってくる。「柔よく剛を制す」から「柔剛一体」へ。微妙に異なる二者を止揚する井上さんの肉声だ。

平成
28年度

総会・懇親会



平成29年3月16日(木)、目黒雅叙園(東京都目黒区)にて「平成28年度総会・懇親会」を開催し、107名にご参加いただきました。

懇親会では平成28年度東京都名誉都民に選ばれました三宅義信さんへ花束の贈呈が行われました。

平成29年度総会・懇親会は平成30年3月27日(火)に開催されます。OAJにとって初めて開催された「平成19年度特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会 総会」からちょうど10年となります。より多くの方々や世代や競技の枠を超え、同じオリンピックズとしての交流会となるよう楽しみにしております。



平成28年度 オリンピアンが集い

日時:2017年3月5日(日) / 会場:金沢都ホテル(石川県金沢市)

平成29年3月5日(日)、金沢都ホテル(石川県金沢市)にて「平成28年度オリンピックの集い」を開催し、東北ブロックを中心としたオリンピック22名が参加しました。初参加の方もおり、自己紹介また各競技の情報交換、報告を行いました。

今回は広島県にて開催されます。今後も各地での集いを開催してまいりますので、引き続きたくさんの方々のご参加をお待ちしております。



平成
28年度

オリンピックふれあい交流事業【子どもゆめ基金助成活動】

オリンピック巡回指導事業【スポーツ振興くじ(toto)助成事業】

オリンピック巡回指導事業

8
9

兵庫県神戸市
●神戸市立六甲アイランド高校

バレーボール

講師 坂本清美
杉山祥子

参加人数 79名



オリンピック巡回指導事業

10
10

山口県宇部市
●俵田翁記念体育館

バスケットボール

講師 参河紀久子
永田睦子

参加人数 166名



オリンピックふれあい交流事業

11
26

福岡県北九州市
●北九州市本城陸上競技場

サッカー

講師 森川環
大谷未央

参加人数 72名



オリンピックふれあい交流事業

12
18

和歌山県橋本市
●和歌山県立橋本体育館

卓球

講師 新井周

参加人数 88名



オリンピックふれあい交流事業

10
30

兵庫県芦屋市
●芦屋市立青少年センター体育館

サッカー

講師 川上直子

参加人数 63名



オリンピックふれあい交流事業

1
15

大阪府豊中市
●豊中市立庄内体育館

バドミントン

講師 水井妃佐子
須賀泰子

参加人数 105名



オリンピックふれあい交流事業

10
27

北海道別海町
●別海町総合スポーツセンター

水泳

講師 加藤ゆか

参加人数 43名



オリンピックふれあい交流事業

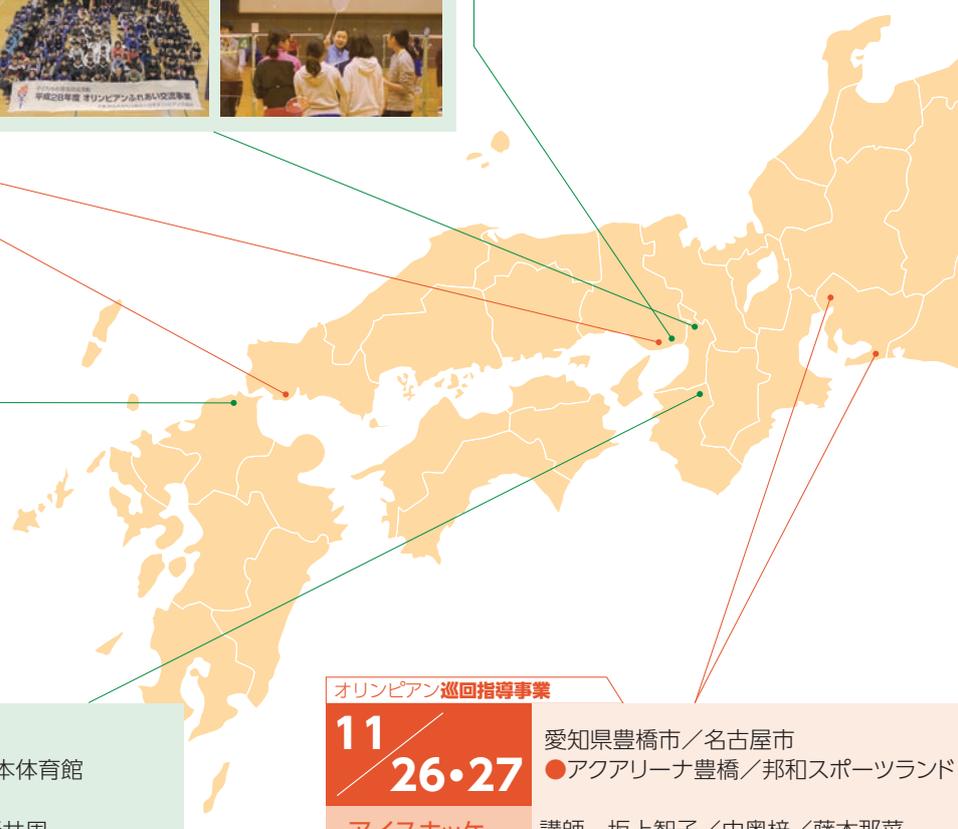
11
23

青森県青森市
●青森県営スケート場

アイスホッケー

講師 藤本那菜
飯塚祐司

参加人数 43名



オリンピック巡回指導事業

11
26・27

愛知県豊橋市／名古屋市
●アクアリーナ豊橋／邦和スポーツランド

アイスホッケー

講師 坂上智子／中奥梓／藤本那菜

参加人数 59名



開催会場一覧

主催/特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会
協力/公益財団法人日本オリンピック協会

オリンピック巡回指導事業

2
4

岩手県岩手町
●岩手町スポーツ文化センター
森のアリーナ

バレーボール

講師 永富有紀
坂本清美

参加人数 109名



オリンピック巡回指導事業

3
12

群馬県前橋市
●県立敷島公園陸上競技場

陸上

講師 塚原直貴

参加人数 52名



オリンピック巡回指導事業

3
24

東京都渋谷区
●東京体育館

テコンドー

講師 岡本依子
濱田真由

参加人数 45名



オリンピック巡回指導事業

2
18

神奈川県相模原市
●相模原ギオンスタジアム

陸上(長距離)

講師 吉川美香

参加人数 27名



平成29年度 オリンピックふれあい交流事業 オリンピック巡回指導事業

開催一覧

●オリンピックふれあい交流事業

【子どもゆめ基金助成活動】

9 9	青森県青森市 ●青森市室内プール 水泳
10 1	北海道中標津町 ●中標津町総合体育館 卓球
11 3	和歌山県和歌山市 ●和歌山ビッグウエーブ フェンシング
11 5	埼玉県深谷市 ●深谷ビッグタートル バドミントン
11 23	青森県青森市 ●青森県営スケート場 アイスホッケー
未定	兵庫県芦屋市 ●芦屋市立青少年センター体育館 バレーボール

●オリンピック巡回指導事業

【スポーツ振興くじ(toto)助成事業】

7 29	静岡県掛川市 ●掛川西高等学校体育館 バレーボール
10 7	北海道別海町/北海道標津町 ●別海町総合スポーツセンター ●標津町総合体育館 卓球 バレーボール
11 5	愛知県名古屋市長 ●邦和スポーツランド アイスホッケー
11 26	山口県宇部市 ●宇部市立東岐波小学校 体育館 バドミントン
未定	大阪府豊中市 ●豊中市立庄内体育館 バスケットボール

Olympians Reunion Center について

World Olympians Association (WOA) は、オリンピック (現役・引退を含む) へのサポートや、活動の場を提供することで世界の発展への貢献を使命としています。

そのうちのひとつとして、1996年アトランタ競技大会から全ての夏季・冬季オリンピック競技大会にて、オリンピック及びその家族やゲストに対し、特別なおもてなしを提供する

ことや、海外オリンピックたちとの再会、また新しい出会いの場として、Olympians Reunion Center (ORC) を設置しています。

リオ2016では、ネットワークを活用しユニークで思い出に残る、また、旧友や新しい仲間とオリンピックの歓喜と興奮をともに分かち合える場と機会を設けました (添付参照)。

●過去大会の例：リオ2016



設置場所: Club de Regatas do Flamengo (ボート会場のそば、T3ステータス)
 設置主体: WOA
 協力組織: NOA、NOC、OGOC
 設置資金: EY及びIOC
 ボランティア: ブラジルオリンピック
 訪問者数: オリンピアン5千名以上

- IOC会長によるイベント参加
- HSH Prince Albert II of Monaco による開幕式
- IOCの公式FBアカウントでORCの様子をライブ配信



- 〈イベントの例〉
- オープニングセレモニー (500名+)
 - Women. Fast Forward (300名+)
 - Purpose Wins Bridges Gap between Business and Olympism
 - IOC Athletes' Commission
 - World Rugby Celebration (300名+)
 - Modern Pentathlon Celebration (150名+)
 - The 2016 edition of Day with the Olympians
 - Interview Olympians
 - New York Athletic Club gathering (150名+)
 - Olympians Wall など

ORCのキーは、“オリンピックが作る同窓会”。2020年東京オリンピック競技大会でも開設に向けて、現在、具体案を協議中です。日本のオリンピックによる最高のおもてなしでお迎えしましょう。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

また平昌2018でのORCの詳細は今年の後半に出る予定です。ご利用されたい場合は、事前登録をしておくことで、手続きをスムーズに進める事が出来ます。ぜひご登録の上、スポンサーとの競技観戦など世界のオリンピックたちの活動にご参加ください。

▶ <http://olympians.org/pyeongchang-2018/>

来る！平昌オリンピック

2018年2月9日 から2018年2月25日まで第23回冬季オリンピックが開催されます。

今大会から新種目としてアルペンスキー団体、スノーボードビッグエア、スピードスケートのマススタート、カーリングの混合などが採用されました。

競技会場は合計13会場で、山岳地区(アルペン・クラスター)の平昌(ピョンチャン)郡・旌善(チョンソン)郡と海岸地区(コースタル・クラスター)の江陵(カンヌン)市の3ヶ所に分かれて開催される予定です。

皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

お知らせ

平成29年度オリンピックの集い

平成23年度より正会員・準会員の皆様を対象に全国各地で実施しております「オリンピックズの集い」につきまして、本年度は広島県広島市で平成30年2月3日(土)に開催することになりました。

会場等詳細につきましては、改めてご案内させていただきますので、是非ご参加ください。

「平成29年度日本オリンピックズ協会 総会・懇親会」開催のお知らせ

年に一度開催しております、日本オリンピックズ協会 総会・懇親会につきまして、本年度は下記のとおり開催する予定です。

会場: 目黒雅叙園

日時: 平成30年3月27日(火) 17:00～